

(仮称) 厚生産業会館の「基本構想案は不適當」

市は高田区地域協議会の答申を尊重すべきだ



17日の高田区地域協議会。市議は私を含め11人が傍聴。

17日の高田区地域協議会でのことです。いったい市役所の人たちは何をしに来たんだろうと不思議に思いました。(仮称)厚生産業会館基本構想案について、高田区地域協議会の人たちに、「これまで長期間にわたり議論していただきありがとうございます」というお礼の言葉もなく、「どのように構想を直したら了承していただけるのでしょうか。今夜はみなさんの声をお聴きにまいりました」という言葉もなかったのです。

市は(仮称)厚生産業会館を高田公園内に設置するという基本構想案を9月に同協議会に諮問。それに対して協議会は、10月30日、「建設は時期尚早」「ホール施設、公民館、子ども施設の複合型施設にするのは不適當」などの意見を付して「基本構想案は不適當」との答申を出していました。市の通知書は、協議会が提出した(仮称)厚生産業会館基

本構想案に添えられた意見に徹底的に反論するものでした。

この日は小林都市整備部長が通知書の中身について説明したのち、地域協議会の委員から質問や意見表明がありました。委員からは、「何が何でも造るという感じがした。どうしても金を使いたくないなら、収入を得ることを先に考えたらいかが」「私たちが出したものが何一つ入らない、当初計画そのものでパブコメに出していいのかわからない」とや変えなさいよ」「駐車場は公園内全体でみれば大丈夫だという考えは疑問だ」などという声が続出しました。部長などが答弁していましたが、市の方針に理解し、推進すべきだとのべたのは整備検討委員会の委員を務めたTさんだけ、委員全体の理解を得るには程遠い状態でした。

市は(仮称)厚生産業会館基本構想案についてのパブリックコメントを20日からスタートさせました。しかし、地元地域協議会の答申を事実上、尊重しないで強引に前に進めるのはいかなるものでしょうか。これでは、全国の多くの自治体から先進的だとして評価されてきた地域協議会の仕組みも台無しです。それといまひとつ、市の幹部は、「建設を望む声は多い」としていますが、新市建設計画の変更に関する地域協議会での議論の中では、今の時期に建設することについて疑問の声がたくさん出ていました。市長に対する評価にも大きな影響を与えること必至です。

(仮称) 厚生産業会館の基本設計は先送りへ

21日、市議会建設企業常任委員会(下の写真)がありました。この日の会議で

は、17日に行われた高田区地域協議会の経過と内容について市側が報告し、委員などから質問を受けました。

特徴的だったのは、委員からの質問や意見は建設促進派であろうと慎重派であろうと、市は地域協議会ともっと協議すべきだという声が多かったことです。本城委員は新潟日報の投書を紹介しながら、「市は地域協議会と合意を得る努力をもっと丁寧にするべきだ」とのべました。また櫻庭委員は、「高田区地域協議会の答申がどう取り扱われるか、市民の関心の的になっている」とのべ、答申の尊重を促しました。また番外で発言した永島議員も「このままでは『市民がど真ん中』ではなく、『行政がど真ん中』になる」と行政の動きを厳しく批判しました。私も番外で発言、「『答申を参考にする』というなら、具体的にどこを参考にするかはつきりさせて話し合う姿勢が大事だ」と訴えました。

小林都市整備部長は、委員会での質問に答える中で、今年度中に予定した基本設計については「スケジュール的に難しくなってきた」とのべました。今年度予算では、20

日から始まった基本構想案のパブリックコメントの経費のほか、地質調査業務、基本設計業務委託費用等が盛り込まれていました。



春よ来い 第二十三回 対面キッチン(2)

先週の日曜日、柏崎の家のリフォーム(改修)工事が終わったというので見に行ってきました。これまでの台所は義母の寝室に、居間は台所兼居間にかわって、二つの部屋はだいぶ明るくなった感じがしました。

工事は約四〇日間かかり、しばらく不自由な生活をしたらしいのですが、義母などの思い通りの改修ができたようです。義母の寝室に入った時、「おっ、いくなつたねえ」と言うと、「やっ」と終わったよ。窓はみんな二重サッシだから暖かい」などと言って義母は笑顔でした。

今回のリフォームのねらいのひとつは義母がトイレに行きやすいように寝室をトイレの隣にもっていくことでした。今度は具合が悪くなっても、そう時間をかけずにトイレにたどり着くことができます。壁際にはベッドが置かれ、義母が望んでいた整理棚も簡単な洗い場も作られました。そして部屋の天井の真ん中には大きな、丸い蛍光灯がつけられ、明るい光がパツと広まりました。義母が喜ぶのは当然です。

また、うまく考えて設置されていました。台所と義母の寝室は壁で仕切られているものの、真ん中に縦九〇センチ、横一メートル八〇センチくらいの障子戸があります。障子戸は両開きです。案内をしてくれた義兄が、「ほら、こうやって全部開けられるんだ。できた料理はすつと出すことができます。いやー、考え過ぎて、だいぶ脳みそ減ったよ」と誇らしげに説明してくれました。そばにいた義母も、「これで、よたよたしても大丈夫だ」と言います。

職人さんたちによる二つの部屋の工事は終わりましたが、カーテンの取り付けはまだこれからです。これはたぶん義兄が自力でやるのでしよう。いまは、義母の寝室も居間も裏庭からは丸見えです。もっとも裏に人家があるわけではありませんが……。出来上がった部屋の説明を一通り聴いてから、三人で居間のコタツに入りながら、おしゃべりを楽しみました。

工事期間中のこと、騒音やほこりを避けるため、義母は当初、アパートへの引っ越しを考えていたらしい。でも、大工さんが入ったある日のこと、大工さんのお茶飲みが終わった後、使った茶碗は出しっぱなしという状況を見て、「こりゃ、自分いなきやならん」と義母は覚悟を決めたといひます。その結果、一か月以上も職人さんたちの世話をしたことで、義母の改修への思いはいっそう深まったようです。

三人でお茶のみをしていた時、裏庭の上の方にある杉の木皮がはがれて、茶色の肌が出ているのを見つけてきました。よく見ると、皮がはがれている杉は一本だけでなく二本でした。義兄が、「子どもの頃、よくお宮さんの杉の皮を引っ張り、はがしたもんだ」と言い、懐かしい記憶を呼び戻してくれました。でも、私たちの目の前の杉は子どもたちではなく、明らかに動物がむいたものです。

タヌキも下手ながら木登りすることがあるといひます。杉の皮をはがした真犯人はタヌキかムササビか、それともハクビシンか。義母によると、親ダヌキが子ダヌキを四つも五つも引き連れて裏庭を通って行くことがあるそうです。

台所と寝室のカーテンがつけられるまでの間にも動物たちはやってくるでしょう。その時、明るくなった部屋や対面キッチンを見て、彼らはどう思うのでしょうか。きつとうらやましがるに相違ありません。

市議会の委員会審議 インターネット中継へ

17日の各派代表者会議で重要なことが確認されました。市議会の来年度予算について協議する中で、ユーストリームを使って常任委員会や特別委員会のインターネット中継をす

ることを予算要望することにしたのです。テレビやインターネットによる委員会中継については、私たち日本共産党議員団やいくつかの会派、議員がずっと求めてきたことです。これが実現すれば、市議会の様子はこれまで以上に多くの市民のみなさんに見てもらうことができます。委員会での審議も活発になるでし

う。ぜひ実現させたいものです。今回の会議ではこのほか、常任委員会などの委員会会議録もホームページに掲載すること、議会だよりを全ページカラー化することも予算要望していくことを確認しました。議会だよりはカラー化しても経費はいまとほとんど変わらないそうです。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果(測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だということです。

	12月19日(水)	12月26日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.040	0.043
新井消防署	0.050	0.057
頸北消防署	0.046	0.053
頸南消防署	0.050	0.067
東頸消防署	0.047	0.036
高士分遣所	0.050	0.053
名立分遣所	0.046	0.050

市内各地 行事

先週は市内各地でクリスマスにちなんだ行事が行われました。このうち、吉川コミュニティプラザでは23日、恒例の「ほっとホットコンサート」が開催されました。

小さな町の音楽愛好者のみなさんが演奏したり、歌ったりした曲は「星に願いを」「赤鼻のトナカイ」などクリスマスを意識したもののほか、歌謡曲、フォークソング、さらには「アランフェス協奏曲第二楽章アダージョ」などの名曲も。会場となった多目的ホールには1000人を超える人が集まり、素敵な歌や演奏にうっとりしていました。写真は梶の田中さん夫妻。



春よ来い 第二十三回 対面キッチン(2)

先週の日曜日、柏崎の家のリフォーム(改修)工事が終わったというので見に行ってきました。これまでの台所は義母の寝室に、居間は台所兼居間にかわって、二つの部屋はずいぶん明るくなった感じがしました。

工事は約四〇日間かかり、しばらく不自由な生活をしたらしいのですが、義母などの思い通りの改修ができたようです。義母の寝室に入った時、「おっ、いくなつたねえ」と言うと、「やっとなつたよ。窓はみんな二重サッシだから暖かい」などと言って義母は笑顔でした。

今回のリフォームのねらいのひとつは義母がトイレに行きやすいように寝室をトイレの隣にもっていくことでした。今度は具合が悪くなっても、そう時間をかけずにトイレにたどり着くことができます。壁際にはベッドが置かれ、義母が望んでいた整理棚も簡単な洗い場も作られました。そして部屋の天井の真ん中には大きな、丸い蛍光灯がつけられ、明るい光がパツと広まりました。義母が喜ぶのは当然です。

リフォームのもうひとつのねらいは、対面キッチンを設置することでした。これがまた、うまく考えて設置されていました。

台所と義母の寝室は壁で仕切られているものの、真ん中に縦九〇センチ、横一メートル八〇センチくらいの障子戸があります。障子戸は両開きです。案内してくれた義兄が、「ほら、こうやって全部開けられるんだ。できた料理はすつと出すことができます。いやー、考え過ぎて、だいぶ脳みそ減ったよ」と誇らしげに説明してくれました。そばにいた義母も、「これで、よたよたしても大丈夫だ」と言います。

職人さんたちによる二つの部屋の工事は終わりましたが、カーテンの取り付けはまだこれからです。これはたぶん義兄が自力でやるのでしよう。いまは、義母の寝室も居間も裏庭からは丸見えです。もっとも裏に人家があるわけではありませんが……。

出来上がった部屋の説明を一通り聴いてから、三人で居間のコタツに入りながら、おしゃべりを楽しみました。

工事期間中のこと、騒音やほこりを避けるため、義母は当初、アパートへの引っ越しを考えていたらしい。でも、大工さんが入ったある日のこと、大工さんのお茶飲みが終わった後、使った茶碗は出しっぱなしという状況を見て、「こりゃ、自分がいなきゃならん」と義母は覚悟を決めたといひます。その結果、一か月以上も職人さんたちの世話をしたことで、義母の改修への思いはいっそう深まったようです。

三人でお茶のみをしていた時、裏庭の上の方にある杉の木皮がはがれて、茶色の肌が出ているのを見つけた。よく見ると、皮がはがれている杉は一本だけでなく二本でした。義兄が、「子どもの頃、よくお宮さんの杉の皮を引っ張り、はがしたもんだ」と言い、懐かしい記憶を呼び戻してくれました。でも、私たちの目の前の杉は子どもたちではなく、明らかに動物がむいたものです。

タヌキも下手ながら木登りすることがあるといひます。杉の皮をはがした真犯人はタヌキかムササビか、それともハクビシンか。義母によると、親ダヌキが子ダヌキを四つも五つも引き連れて裏庭を通って行くことがあるそうです。

台所と寝室のカーテンがつけられるまでの間にも動物たちはやってくるでしょう。その時、明るくなった部屋や対面キッチンを見て、彼らはどう思うのでしょうか。きつとうらやましがるに相違ありません。

市議会の委員会審議 インターネット中継へ

17日の各派代表者会議で重要なことが確認されました。市議会の来年度予算について協議する中で、ユーストリームを使って常任委員会や特別委員会のインターネット中継をす

ることを予算要望することにしたのです。

テレビやインターネットによる委員会中継については、私たち日本共産党議員団やいくつかの会派、議員がずっと求めてきたことです。これが実現すれば、市議会の様子はこれまで以上に多くの市民のみなさんに見てもらえることができます。委員会での審議も活発になるでし

う。ぜひ実現させたいものです。

今回の会議ではこのほか、常任委員会などの委員会会議録もホームページに掲載すること、議会だよりを全ページカラー化することも予算要望していくことを確認しました。議会だよりはカラー化しても経費はいまとほとんど変わらないそうです。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果(測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だということです。

	12月19日(水)	12月26日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.040	0.043
新井消防署	0.050	0.057
頸北消防署	0.046	0.053
頸南消防署	0.050	0.067
東頸消防署	0.047	0.036
高士分遣所	0.050	0.053
名立分遣所	0.046	0.050

演奏、歌 拍手

先週は市内各地でクリスマスにちなんだ行事が行われました。このうち、吉川コミュニティプラザでは23日、恒例の「ほっとホットコンサート」が開催されました。

小さな町の音楽愛好者のみなさんが演奏したり、歌ったりした曲は「星に願いを」「赤鼻のトナカイ」などクリスマスを意識したもののほか、歌謡曲、フォークソング、さらには「アララフェス協奏曲第二楽章 アダージョ」などの名曲も。会場となった多目的ホールには100人を超える人が集まり、素敵な歌や演奏にうっとりしていました。

写真は梶の田さん夫妻。空に広がっていくような歌声に大きな拍手が送られました。



春よ来い 第二十三回 対面キッチン(2)

先週の日曜日、柏崎の家のリフォーム(改修)工事が終わったというので見に行ってきました。これまでの台所は義母の寝室に、居間は台所兼居間にかわって、二つの部屋はずいぶん明るくなった感じがしました。

工事は約四〇日間かかり、しばらく不自由な生活をしたらしいのですが、義母などの思い通りの改修ができたようです。義母の寝室に入った時、「おっ、いくなつたねえ」と言うと、「やっ」と終わったよ。窓はみんな二重サッシだから暖かい」などと言って義母は笑顔でした。

今回のリフォームのねらいのひとつは義母がトイレに行きやすいように寝室をトイレの隣にもっていくことでした。今度は具合が悪くなっても、そう時間をかけずにトイレにたどり着くことができます。壁際にはベッドが置かれ、義母が望んでいた整理棚も簡単な洗い場も作られました。そして部屋の天井の真ん中には大きな、丸い蛍光灯がつけられ、明るい光がパツと広まりました。義母が喜ぶのは当然です。

リフォームのもうひとつのねらいは、対面キッチンを設置することでした。これがまた、うまく考えて設置されていました。

台所と義母の寝室は壁で仕切られているものの、真ん中に縦九〇センチ、横一メートル八〇センチくらいの障子戸があります。障子戸は両開きです。案内してくれた義兄が、「ほら、こうやって全部開けられるんだ。できた料理はすつと出すことができます。いやー、考え過ぎて、だいぶ脳みそ減ったよ」と誇らしげに説明してくれました。そばにいた義母も、「これで、よたよたしても大丈夫だ」と言います。

職人さんたちによる二つの部屋の工事は終わりましたが、カーテンの取り付けはまだこれからです。これはたぶん義兄が自力でやるのでしよう。いまは、義母の寝室も居間も裏庭からは丸見えです。もっとも裏に人家があるわけではありませんが……。

出来上がった部屋の説明を一通り聴いてから、三人で居間のコタツに入りながら、おしゃべりを楽しみました。

工事期間中のこと、騒音やほこりを避けるため、義母は当初、アパートへの引っ越しを考えていたらしい。でも、大工さんが入ったある日のこと、大工さんのお茶飲みが終わった後、使った茶碗は出しっぱなしという状況を見て、「こりゃ、自分いなきやならん」と義母は覚悟を決めたといひます。その結果、一か月以上も職人さんたちの世話をしたことで、義母の改修への思いはいっそう深まったようです。

三人でお茶のみをしていた時、裏庭の上の方にある杉の木皮がはがれて、茶色の肌が出ているのを見つけた。よく見ると、皮がはがれている杉は一本だけでなく二本でした。義兄が、「子どもの頃、よくお宮さんの杉の皮を引っ張り、はがしたもんだ」と言い、懐かしい記憶を呼び戻してくれました。でも、私たちの目の前の杉は子どもたちではなく、明らかに動物がむいたものです。

タヌキも下手ながら木登りすることがあるといひます。杉の皮をはがした真犯人はタヌキかムササビか、それともハクビシンか。義母によると、親ダヌキが子ダヌキを四つも五つも引き連れて裏庭を通って行くことがあるそうです。

台所と寝室のカーテンがつけられるまでの間にも動物たちはやってくるでしょう。その時、明るくなった部屋や対面キッチンを見て、彼らはどう思うのでしょうか。きつとうらやましがるに相違ありません。

市議会の委員会審議 インターネット中継へ

17日の各派代表者会議で重要なことが確認されました。市議会の来年度予算について協議する中で、ユーストリームを使って常任委員会や特別委員会のインターネット中継をす

ることを予算要望することにしたのです。

テレビやインターネットによる委員会中継については、私たち日本共産党議員団やいくつかの会派、議員がずっと求めてきたことです。これが実現すれば、市議会の様子はこれまで以上に多くの市民のみなさんに見てもらうことができます。委員会での審議も活発になるでし

う。ぜひ実現させたいものです。

今回の会議ではこのほか、常任委員会などの委員会会議録もホームページに掲載すること、議会だよりを全ページカラー化することも予算要望していくことを確認しました。議会だよりはカラー化しても経費はいまとほとんど変わらないそうです。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果(測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だということです。

	12月19日(水)	12月26日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.040	0.043
新井消防署	0.050	0.057
頸北消防署	0.046	0.053
頸南消防署	0.050	0.067
東頸消防署	0.047	0.036
高士分遣所	0.050	0.053
名立分遣所	0.046	0.050

莊業者 協議継続中

大島区地域協議会が25日開催され、休館中の大山温泉あさひ荘について市側から報告がありました。報告によると、あさひ荘の経営をやつてみたいと手を上げている市内の2つの民間業者との協議は継続中で、協議が煮詰まっていけば、指定管理者の公募が実施されるということでした。

市側は委員からの質問に答えて、「(公募方針が決まれば)この2業者とも応募したいということと検討しておられると聞いている。ただ、実際に公募という段階になつてみないとわからない」とのべていました。その一方で、「(公募ということが決まれば)地域の組織がどういう形で支援していくかが課題になる。次回以降の会議で議論してほしい」と含みのある発言がありました。朗報を待ちたいと思います。



春よ来い 第二十三回 対面キッチン(2)

先週の日曜日、柏崎の家のリフォーム(改修)工事が終わったというので見に行ってきました。これまでの台所は義母の寝室に、居間は台所兼居間にかわって、二つの部屋はずいぶん明るくなった感じがしました。

工事は約四〇日間かかり、しばらく不自由な生活をしたらしいのですが、義母などの思い通りの改修ができたようです。義母の寝室に入った時、「おっ、いくなつたねえ」と言うと、「やっとなつたよ。窓はみんな二重サッシだから暖かい」などと言って義母は笑顔でした。

今回のリフォームのねらいのひとつは義母がトイレに行きやすいように寝室をトイレの隣にもっていくことでした。今度は具合が悪くなっても、そう時間をかけずにトイレにたどり着くことができます。壁際にはベッドが置かれ、義母が望んでいた整理棚も簡単な洗い場も作られました。そして部屋の天井の真ん中には大きな、丸い蛍光灯がつけられ、明るい光がパツと広がりました。義母が喜ぶのは当然です。

リフォームのもうひとつのねらいは、対面キッチンを設置することでした。これがまた、うまく考えて設置されていました。

台所と義母の寝室は壁で仕切られているものの、真ん中に縦九〇センチ、横一メートル八〇センチくらいの障子戸があります。障子戸は両開きです。案内してくれた義兄が、「ほら、こうやって全部開けられるんだ。できた料理はすつと出すことができます。いやー、考え過ぎて、だいぶ脳みそ減ったよ」と誇らしげに説明してくれました。そばにいた義母も、「これで、よたよたしても大丈夫だ」と言います。

職人さんたちによる二つの部屋の工事は終わりましたが、カーテンの取り付けはまだこれからです。これはたぶん義兄が自力でやるのでしよう。いまは、義母の寝室も居間も裏庭からは丸見えです。もっとも裏に人家があるわけではありませんが……。

出来上がった部屋の説明を一通り聴いてから、三人で居間のコタツに入りながら、おしゃべりを楽しみました。

工事期間中のこと、騒音やほこりを避けるため、義母は当初、アパートへの引っ越しを考えていたらしい。でも、大工さんが入ったある日のこと、大工さんのお茶飲みが終わった後、使った茶碗は出しっぱなしという状況を見て、「こりゃ、自分いなきやならん」と義母は覚悟を決めたといひます。その結果、一か月以上も職人さんたちの世話をしたことで、義母の改修への思いはいっそう深まったようです。

三人でお茶のみをしていた時、裏庭の上の方にある杉の木皮がはがれて、茶色の肌が出ているのを見つけた。よく見ると、皮がはがれている杉は一本だけでなく二本でした。義兄が、「子どもの頃、よくお宮さんの杉の皮を引っ張り、はがしたもんだ」と言い、懐かしい記憶を呼び戻してくれました。でも、私たちの目の前の杉は子どもたちではなく、明らかに動物がむいたものです。

タヌキも下手ながら木登りすることがあるといひます。杉の皮をはがした真犯人はタヌキかムササビか、それともハクビシンか。義母によると、親ダヌキが子ダヌキを四つも五つも引き連れて裏庭を通って行くことがあるそうです。

台所と寝室のカーテンがつけられるまでの間にも動物たちはやってくるでしょう。その時、明るくなった部屋や対面キッチンを見て、彼らはどう思うのでしょうか。きつとうらやましがるに相違ありません。

市議会の委員会審議 インターネット中継へ

17日の各派代表者会議で重要なことが確認されました。市議会の来年度予算について協議する中で、ユーストリームを使って常任委員会や特別委員会のインターネット中継をす

ることを予算要望することにしたのです。

テレビやインターネットによる委員会中継については、私たち日本共産党議員団やいくつかの会派、議員がずっと求めてきたことです。これが実現すれば、市議会の様子はこれまで以上に多くの市民のみなさんに見てもらうことができます。委員会での審議も活発になるでし

う。ぜひ実現させたいものです。

今回の会議ではこのほか、常任委員会などの委員会会議録もホームページに掲載すること、議会だよりを全ページカラー化することも予算要望していくことを確認しました。議会だよりはカラー化しても経費はいまとほとんど変わらないそうです。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果(測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だということです。

	12月19日(水)	12月26日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.040	0.043
新井消防署	0.050	0.057
頸北消防署	0.046	0.053
頸南消防署	0.050	0.067
東頸消防署	0.047	0.036
高士分遣所	0.050	0.053
名立分遣所	0.046	0.050

第 一、第 一

松波福祉会 譲渡

上越市は19日の柿崎区地域協議会で、柿崎区内にある第1、第2デイサービスセンターを、現在、指定管理者として運営している社会福祉法人松波福祉会に譲渡する方針であることを明らかにしました。関係者からは、「サービスがどうなるか」などの声が上がっていますが、市は来月、柿崎区地域協議会にたいして正式に諮問するという事です。

市では昨春秋に策定した「公の施設の再配置計画」に基づき、デイサービスセンターなど介護保険施設等26施設を民間で運営してもらった方がサービス向上につながるとして、譲渡する検討をしてきました。



第2デイサービスセンターに至る市道は大雨のたびに水が上がり、早急な改修が求められています。